

wacaf

感動空間♥文化で元気!!



熊野古道

田辺市から熊野三山へと続く熊野古道。中辺路町近露の「牛馬童子像」は、花山法皇が経典を埋めた場所と伝わる箸折峠にあり、花山法皇の旅姿といわれています。

- イベントスケジュール
- エッセイ 「熊野の力」 西陽子
- 対談 県立医大でホスピタルコンサート
- インタビュー 山下洋輔・渡辺香津美・宮本文昭
- リサイクル活動で芸術鑑賞…津木中学校 (広川町)

Vol.5
2004
1.2月号

Wacaf (ワカフ) ポップスコンサート

南こうせつコンサート ツアー2004

2004年2月27日(金)

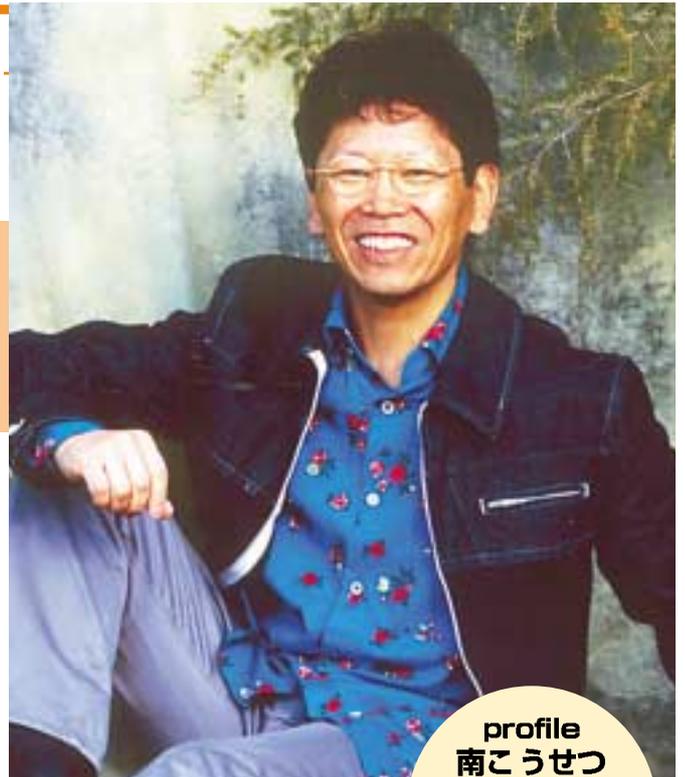
■開演/午後6時半(開場/午後6時)

■場所/県民文化会館(大ホール)

■入場料金/S席(1階) 5500円(残席わずか)
A席(2階) 4500円 ※全席指定

昨年全米ツアーを成功させ、ますます充実した音楽活動を展開している南こうせつさん。独特の音楽性とバイタリティーで、創世期のフォークミュージックシーンに強烈なインパクトを与え、数々のヒット作品を発表。最近では、自然の大切さや世界平和を願ったコンサート活動も展開し、注目を集めています。

「ステージでは毎回、その時々々の等身大の自分を表現できればと思っています。和歌山は暖かい土地柄のせいか、おおらかな感じがします。どことなくホッとするイメージです」という南さん。今回のコンサートではファンと一緒に楽しめるような、アコースティックなサウンドが満載。もちろんメッセージがいっぱい詰まったフォークソングの名曲も披露されます。温かな人間性を感じられるステージをお楽しみください。



profile
南こうせつ

1949年、大分に生まれる。「かくや姫」やソロでの音楽活動で多くのヒット作品を発表。1988年からは新しい原発養護ホーム建設を目的とした「広島ピースコンサート」を10年間にわたり続け、約2億円の寄付を残した。その活動領域は多方面へと広がりを見せ、アーティストとしてだけでなく一生活人として時代を見据える彼の姿勢は、大地に根ざした独自のライフスタイルと共に多くの共感と支持を得ている。



美しい愛の情感を描いたバレエの傑作

レニングラード国立バレエ 白鳥の湖 SWAN LAKE

2004年1月16日(金)

■開演/午後6時半(開場/午後6時)

■場所/県民文化会館(大ホール)

■入場料金/S席1万2000円(残席わずか)

A席1万円 B席8000円 C席6000円

※全席指定・学生割引(500円)・団体割引あり

160年余りの歴史と伝統のあるレニングラード国立バレエが、古典の息吹を感じさせる華やかな舞台を披露します。作曲家・チャイコフスキーの音楽と見事に溶け合い、悲劇性を一層際立たせた作品で見どころが満載。今回は日本で最も人気のあるプリマ・バレリーナ草刈民代さんがゲストとして主演。気品ある白鳥の姿が注目されます。

物語は舞踏会で幕開け、湖のほとりに場面を移します。そこで王子は美しい娘と出会い恋に落ちます。しかし彼女をはじめとする乙女たちは悪魔に、昼は白鳥の姿、夜だけ人間に変身する魔法をかけられていました。それを解くことができるのは深い愛のみ…。ステージでは舞踏会での華やかな踊りや、湖畔に集う白鳥たちのコール・ド・バレエのアンサンブルなど、美しいシーンが繰り広げられます。

スワンレイク 豆知識

「白鳥の湖」は1895年に全幕上演されました。レニングラード国立バレエ団の演じる作品はこの原典版を復元したもので、振り付けの細部にわたり初演当時が再現されています。

見どころのひとつは宮廷の舞踏会で繰り広げられるスペイン、ハンガリー、ナポリなど各国の踊り。さらに第2幕、4幕で披露される多くの白鳥たちによる美しい踊りコール・ド・バレエ(群舞)は、世界最高峰といわれます。主人公との優美なアンサンブルは大きな感動を与えてくれることでしょう。



特別ゲストとして主演する草刈民代さん

庶民が生んだ笑いの芸能を探る

狂言鑑賞会 「狂言への誘い」

2004年1月19日(月)

■開演/午後6時半(開場/午後6時)

■場所/県民文化会館(小ホール)

■入場料金/一般2500円

学生800円 ※全席指定、団体割引あり

庶民が生んだ笑いの芸能。その原典ともいえる芸術が「狂言」です。鑑賞会では大蔵流狂言師・茂山千三郎さんが見どころなどを分かりやすく解説。古くから伝わる笑いの芸術の魅力を探っていきます。

■■■■ [演目・出演者] ■■■■

「末広かり(すえひろかり)」

茂山千五郎、茂山正邦、茂山宗彦、茂山千三郎

解説/「末広かり」を買いに都まで来た主人公。実はそれが何かを知らず、都の詐欺師にとんでもないものを売りつけられます。が、それは主人の機嫌を直すオマケ付き…。話はハッピーエンドで幕を閉じます。

「棒縛り(ぼうしばり)」

茂山逸平、松本薫、島田洋海、茂山正邦

解説/主人が留守の間に盗み酒をする冠者たち。そこで一計を案じた主人は冠者たちの両手を棒に縛り出かれます。しかし冠者たちは縛られたまま酒盛りをしています。そこに主人が戻ってきてしまい…。

「濯ぎ川(すすぎがわ)」

茂山宗彦、茂山逸平、茂山千三郎、茂山正邦

解説/毎日、嫁と姑に追い使われる養子の男。用事があまりにも多いので「紙に書いてくれ」と言い出します。書いていないことはしててもよいとの約束を取り付け、ささやかな反抗を試みますが…。



profile
茂山千五郎

大蔵流狂言師十三世。5歳の時に初舞台、20歳で「釣狐」を抜く。1976年「花形狂言会」を発足、主宰。古典狂言のほかSF狂言などの新作狂言にも取り組み、年間約600回にもものまるとの舞台を踏んでいる。1994年、十三世・茂山千五郎を襲名。日本能楽协会会员、重要無形文化財総合指定保持者、国立歌舞伎養成所講師。

狂言 豆知識

「末広かり」とは扇・扇子のこと。作品の中にでてくるのは親骨(西側の太い2本の骨)の上端(裏の反対側の端)を外へ反り返らせた扇のことで、閉じた状態でも扇形に広がっているおめでたい品物。また2幕目の「棒縛り」では、「冠者」と呼ばれる家来が、棒を使ったコミカルな舞台を披露します。3幕目の「濯ぎ川」は1953年に初演された最早古典といわれる昭和の新作狂言。



イベントスケジュール Event Schedule

イベント名	日時	内容
エリック・ベルシヨ ピアノエレガンス 開催場所/県民文化会館(小ホール)	1月28日(水) 午後7時 (開場/午後6時半)	フランス屈指のピアニストとして知られるエリック・ベルシヨ。今回の曲目は「タイタニック」より愛のテーマ、美女と野獣、ETのテーマ、ベートルズ・メドレー、ショパン「英雄」ポロネーズなど。誰もが心にとどめている思い出の名作や名曲の数々が幻想的に、そして情緒豊かに表現され、心温まるステージが披露されます。
Wacaf カルチャースクール展2004 開催場所/県民文化会館(中展示室)	1月29日(木) ~2月1日(日) 午前9時半~午後5時	洋画やカリグラフィ教室、ペン習字など、平日の受講が困難な人を対象に土曜・日曜に開講しているカルチャースクールの発表会。個性あふれる受講生の作品、約60点が展示されます。※入場無料

【プレイガイド】

※P2、P3の公演は下記でお買い求めいただけます

■和歌山県民文化会館 M073(436)1331
■和歌山ビック愛 M073(435)5200
■宮井平安堂 M073(431)1331
■近鉄カルチャーセンター M073(421)7123
■カインレコード M073(483)5039

■粉河ふるさとセンター M0736(73)3312
■かつらぎ総合文化会館 M0736(22)0303
■県立橋本体育館 M0736(32)9660
■御坊市民文化会館 M0738(23)4881
■紀南文化会館 M0739(25)3033

■ローソンチケット M0570(00)0403(電話予約)

※「南こうせつコンサートツアー2004」レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」はお近くのローソンでもお買い求めいただけます

ESSAY

熊野の力

箏奏者 西 陽子

最近は何かに迷った時、静かにじっくりと考えたい時、心や体が疲れてしまった時、熊野に行って、山や川の空気をいっぱい体に入れ、温泉に入り、夜中山から聞こえる怪しげな鳥の声や川のせせらぎの中に身をおいて、ゆっくりとした時間を過ごしたくなる。

熊野では、不思議なことが当たり前のように起こる。野中の一方杉の祠(ほこら)の前で箏を弾いた時、突然雨が降ってきて、私や聞いていた人たちはぬれてしまったにもかかわらず、箏自体には滴が1・2滴落ちていただけだった。南紀熊野体験博で、勅使河原宏演出の「すさのお異伝」に楽士として出演した時もそうだった。演出者・スタッフは野外公演ということもあって、数日前から現地入りしていたが、大雨が続き、リハーサルはほとんどできず、本番さえ可能かどうか分からないというような状態だった。一方、本宮大社の宮司は「絶対晴れるから心配ない」と、全く不安のない様子。当日、やはり朝から雨。ところが、本番の4時間ほど前から雲が急に動き始め、1時間前にはすっかり雨もあがって、青空がのぞいていた。とても美しく、すがすがしく、祈りたくなるような神秘的な出来事だった。その奇跡が2日続いて起こったことがまた驚きなのだが、熊野の人たちにとっては、こんなことは日常で、何の驚きもないらしい。

人間の力ではどうすることもできないことがある。そう感じる時、自分の力で何でも解決しようと無理をして

いた心や体が解放され、「このままでいいのだ」と安心する。そしてまた、圧倒的な自然の力をおそれ、その美しさ感動し、長い長い生物の循環の中にいる植物や動物と同じ「生き物」としての自分の存在に立ち返ることができる。

昨年4月、熊野本宮大社で奉納演奏をさせて頂いた。その日は、年に一度の大祭で、大斎原(おおゆのはら)での華やかなにぎわいは、夢のように忘れられない思い出になった。



熊野三千六百峰とも呼ばれる熊野の深い山並み



西 陽子 (にし ようこ)

和歌山県出身。幼少より生田流箏曲を学び、沢井忠夫、沢井一恵の両氏に師事。1991年まで、KAZUJE SAWAI KOTO ENSEMBLEのメンバーとしてアメリカやドイツ、フランスなどの公演に参加。現在、伝統楽器グループ「糸」(高橋悠治プロデュース)、モノフォニーコンサート(音楽監督・藤枝守)のメンバーとして自由な発想と感性でさまざまな角度から箏の音楽にアプローチしている。平成15年度和歌山県文化奨励賞受賞。

平成15年度和歌山県文化表彰・受賞者



和歌山県文化賞
入谷明さん

近畿 人学学生物理工学部教授として、後進の指導にあたりつつ、発酵・遺伝子工学技術の研究を続ける。また最近ではシベリアの永久凍土で発掘したマンモスの肉片をもとに、クローンを復元する研究でも世界的に注目される。近畿人学理事ほか。



和歌山県文化功労賞
山本賢さん

卓越した学識と指導力により遺跡発掘調査委員、県民俗芸能祭調査委員などとして後進の指導にあたる。県指定文化財、埋蔵文化財などの保護にも尽力。高い学識と信望は文化財行政だけでなく、県政全般にいかされている。和歌山県文化財保護指導委員ほか。



和歌山県文化奨励賞
西陽子さん

幼少より赤羽多美代氏に生田流箏曲を学び、沢井忠夫氏、沢井一恵氏に師事。箏演奏者としてアメリカ、ドイツなど世界各地で演奏活動を行い反響を呼ぶ。国内外のアーティストとのコラボレーションなどソロ活動も多彩で、自由な発想と感性で箏の音楽を追求する。



和歌山県文化功労賞
宮村康彦さん

53年の永きにわたり、油絵の伝承に力をそそぐ。絵画を通じて紀の川沿いの町おこしにも貢献する。また長年、和歌山県美術展覧会などの審査員を務めるなど、本県の絵画文化の振興に大きく寄与した功績は多人。日本美術家連盟会員、和歌山県美術家協会理事。



和歌山県文化奨励賞
田中博行さん(芸名SABU)

1996年、自ら脚本の「弾丸ランナー」で監督デビュー。その後、次々と話題作を発表し、長編第6作「幸福の鐘」で第53回ベルリン映画祭のONE TFPAC賞を受賞。日本を代表する映画監督の一人であり、優れた映画作品の創作を通して、映画文化の振興に貢献。



和歌山県文化奨励賞
増田威さん(本名 増田 隆昭)

大阪芸術大学彫刻科卒業。スペインのバリエロナで個展を開催、好評を博す。さらに国内でも活躍、県内では「熊野古道」と「サンティアゴへの道」の姉妹道提燈を記念した「朝日の鐘」を制作・発表。木や金属がもつ独自の音を引き出すユニークな仕事で評価を得る。

「医療と音楽の融合～ヒーリング」テーマに 県立医大でホスピタルコンサート 美しい音色が患者さんの心を包む

山中：院内のアメニティを充実させたくて、まずは絵画を集め、玄関ロビーには、学長とも相談してグランドピアノを設置しました。病院でも思いっきり音楽を楽しめるスペースがあってもいいんじゃないかと思ひまして…。ある日、医師たちがピアノを弾いていると患者さんたちがロビーに集まってきて、それならここでコンサートをやってみようという話と米山先生と一緒に始めたのがきっかけです。



県立医大音楽科教授・山中昇さんと和歌山大学教育学部音楽科教授・米山龍介さん

米山：本物の音楽を楽しんでもらいたくて、演奏はプロの音楽家に依頼しました。平成13年6月にスタートして、それからの2年間は2カ月に1回。内容は医師や看護師の方々のハーモニー、私のオーボエと琴の共演など多彩。演奏中に患者さんの口ずさむ声が聞こえたり、歌詞カードを見て涙ぐむ患者さんがいたり…ロビーという場なので演奏者と患者さんの距離も近く、スキンシップの場のような感じです。

山中：そうですね。ロビーまでストレッチャーで来た患者さんもありますよ。皆さん演奏を聴いた後、笑顔になりましたね。音楽にはそんな不思議な力があると思います。

米山：病院が治療する場所だけのものだと殺風景ですよね。でも絵画や音楽があると精神的にも大きい。病院は“医療”と“精神面”の両方がまかなえる場所であってほしいと思います。

山中：癒しというのは実際に病気を治す力があると思います。音楽や絵画、笑いなど癒しといわれるものが、どこまで治療に影響したかは数値としてはとらえられないので、

県立医科大学附属病院耳鼻咽喉科と和歌山大学教育学部音楽科器楽共催の「ホスピタルコンサート」が昨年より、同病院玄関ロビーで開催されています。テーマは「医療と音楽の融合～ヒーリング～」。コンサート発起人の同医科大学の医学博士・山中昇さんと、オーボエ演奏者と和歌山大学教育学部音楽科教授・米山龍介さんにお話を伺いました。

難しいところではありますが、病院は医療を提供するだけでなく、患者さんが喜ぶものや癒しなどを取り入れていく必要があると思います。私たちもほっとしますしね。そういう点でもコンサートの意義は大きいと思います。

米山：テーマに「癒し」とありますが、私たち演奏者が癒してあげているとは思っていません。患者さんや医者、看護師さんの顔を見ながら、実は演奏者も癒されているのです。普通の演奏会場と違うのはそこ。自分では分かりませんが、一般的なコンサートとは何か違った音楽が出ているのかも知れません。



コンサートでの様子

山中：入院患者さんたちを対象にしているコンサートなので、医師や看護部、事務の方々の協力が必要です。最初は少し抵抗があったようですが、音楽に触れた患者さんの反応を見てからというもの、2回目以降は、病院全体が一丸となって取り組んでくれてスムーズに開催されています。今後は米山先生の学生たちにご協力いただき各病棟での個別演奏会や、ピアノだけのミニコンサートなどを開いていきたいと思っています。

山中昇さん (やまなかのまる)

和歌山県立医科大学教授
専門 耳鼻咽喉科学
1950年生まれ。札幌医科大学卒業。医学博士。

米山龍介さん (よねやまりゆうすけ)

和歌山大学教育学部音楽科教授
オーボエ奏者、「管打楽器奏法」「合奏」「指揮法」などを専門とする。1953年生まれ。東京芸術大学大学院卒業。修士。

音楽分野の文化発展に大きく貢献

和歌山県文化表彰40周年記念特別コンサートとして、2003年11月10日に開催された「杉谷昭子・澤和樹・宮下直子～和歌山が育んだクラシックの調べ～」音楽分野の文化発展に大きく貢献した3人のコンサートが県民文化会館で行われました。



音楽や美術など、文化の向上発展に特に功績のあった人たちに贈られる「和歌山県文化表彰」の40周年を記念して昨年行われた同コンサート。昭和62年度受賞の澤和樹さんは、「心底、腹をわって話し合える友人がいる地元でのコンサート。今日も大勢の友人が駆けつけてくれ、うれしい限りです」と。平成2年度受賞の杉谷昭子さんも「同級生や後援会の人たちには感謝しています。世界中の人たちが幸せでありますようにというメッセージを込めて演奏しました」と。さらに平成10年度受賞の宮下直子さんは「今日の演奏会は大先輩と同じ舞台。プログラムもいろいろ考えました」と話します。受賞後もさらに活躍を続ける3人のすばらしい演奏が会場に響き渡りました。



◀昭和62年度文化奨励賞受賞の澤和樹さん。世界から高い評価をうけるSAWA QUARTET、東京弦楽合奏団を主宰、東京芸術大学助教授でもあり、若い音楽家の指導にもあたる



▲平成2年度文化奨励賞受賞の杉谷昭子さん。国際コンクールで上位入賞をはじめ、女性としては世界初のベートーヴェン・ピアノ協奏曲全集をリリースするなど多方面活躍



◀平成10年度文化奨励賞受賞の宮下直子さん。日本各地で多くのリサイタル、オーケストラとの共演をはじめ現代音楽の新作初演、またアンサンブル奏者としても高い評価を得る

インタビュー

ジャンルやスタイルを越えた 新しいフリーミュージックの誕生

2003年10月22日、県民文化会館大ホールで行われた夢のジャズセッション「wacafスペシャルジャズコンサート～山下洋輔・渡辺香津美・宮本文昭スーパーセッション～」。公演直後の3人にお話を伺いました。

◆今日のセッションの手ごたえはいかがでしたか？

宮本：お二人とは何度も一緒にさせてもらっていますが、いつも「今日の演奏が一番」という風を感じています。今日も観客の皆さんが敏感に反応してくれ、気持ちよく演奏できました。

山下：この三人組での演奏は久しぶりなので新鮮でした。やはりジャズ的な演奏法なので同じ曲でも一回一回が違うものになるんです。「おっ、この辺だな」「今日はこんな感じだ！」という具合に即興でやり合って、その熱気が客席にも伝わったと思います。

渡辺：当然リハーサルも何度もやるんですが、本番では全く違うものになっちゃいますね（笑）。今日はかなりベストな出来だと思います。そしてやはり僕も新鮮な印象を受けました。懐かしさも感じながら「油断できないぞ」という緊張感もあって。

◆このトリオで演奏するようになったきっかけは？

宮本：平成6年に、横浜美術館のロビーコンサートでの新しい試みとして私から山下さんとの共演をお願いしたんです。「それなら渡辺さんも呼んでさらに豪華に…」と言って頂いて。それ以降、山下さんと僕、渡辺さんと僕といったそれぞれのデュオでも演奏するようになり、仲良しになっていったという感じです。



左から渡辺香津美さん・山下洋輔さん・宮本文昭さん

◆クラシックではジャズのようなアドリブ（即興演奏）はあまりされないと思うのですが？

宮本：そうですね。普段クラシックの演奏でちょっと窮屈な思いもするんですが、いつも二人からは「どうなってもいいから好きにやってみて下さい！」とお願いするので、ある意味うっぶんを請らすような感じですね（笑）。なるべく何も考えずに、用意して頂いた雰囲気の中に飛び込んでいって演奏するようにしています。

渡辺：スタイルやアプローチの違いはあっても、表現するという意味では同じ地平にあると思います。

宮本さんのノブールなメロディーから学ぶものも多いですし、同じジャズのアドリブにしても「山下語」と「渡辺語」では違うんです。「一人一民族音楽」とでもいしましょうか。そういった部分ではジャズもクラシックも垣根は無いと思いますね。逆に「違うから面白い」というか…。

山下：宮本さんが越境して付き合ってくださいるんだから、（渡辺さんと）二人がかりでむちゃくちゃにしちゃおう！っていう感じです（一同笑）。思うままに演奏していく中で新しいフリーミュージックが生まれたと自負しています。「宮本民族」というのは実に貴重な存在で、彼自身の世界もきっちり確立しているがこちら側でも柔軟に表現してくれる。だからこういう出会いも生まれたし、その成果がここにあるんです。



平成14年度きのくに技能奨励賞—受賞者紹介

根来寺根来塗師の名に恥じない作品作りを

根来寺根来塗師 いけのうえ しょうざん
池ノ上 曙山さん

「技能奨励賞の受賞者の中で最年少ということもあり大変うれしく、また感謝の気持ちでいっぱいです」と受賞の喜びを話す池ノ上曙山さん。「今後は根来寺から認証された根来寺根来塗師の名前に恥じないように、作品づくりに取り組んでいきたいと思っています」と意欲的です。

もともと古物に興味があった池ノ上さんが、根来塗に興味を持ったのは15年ほど前。その数年後、山内にある岩出町民俗資料館の一

期生として根来塗の技術指導や歴史研究家の指導を受けました。「昔ながらの技法を受け継ぎ、はげ目が残る朱砂（しゅさ）塗を施している根来塗は、使い込むほどに味が出てきます」。本来の根来塗ならではの美しさに魅せられたことから本格的伝統芸術を目指しました。

昨年は作品づくりに追われていたため、毎年12月に開催している和歌山市での個展を断念。「楽しみにして下さっていた方には申し訳なく思っています」と話しています。



1959年大阪府生まれ、岩出町在住。2000年根来寺から唯一、寺名の使用が認められ、約400年ぶりに「本来の根来寺根来塗」を復活させた。2011年、根来寺から根来塗の伝承者として「根来寺根来塗師」の名が与えられた。現在は岩出町民俗資料館内の根来塗工房で一般・プロ養成講座を通じて伝承事業に取り組んでいる。プロ志向の人が集まった「根来塗曙山会」会長。

子どもたちに本物の舞台の楽しさを…。年1回、県民文化会館で観劇 地域が一丸となったリサイクル活動で芸術鑑賞

津木中学校(広川町)

「生徒たちに本物の舞台の楽しさを知ってもらおう」と広川町の津木中学校では、空缶や古紙などのリサイクル活動で得た収入を利用して、毎年1回、県民文化会館で芸術鑑賞を行っています。1993年からスタートした取り組みで、昨年は11月25日に上演された劇団四季のミュージカル「アンデルセン」を鑑賞、全校生徒27人と先生や保護者が舞台を楽しみました。

資源ごみの回収は、毎年5月と10月の年2回行われている恒例の活動です。実施日前には校区の8地区の住民に有線放送やチラシで協力を呼びかけ、当日は生徒と保護者で回収。昨年の10月19日は4tトラック4台分もの古紙類と1台分のアルミ缶、古布が集まりました。この活動はすっかり地元の人たちに定着しており、校内に設置された資源倉庫には、回収実施日以外にも資源ごみを持ち込む地元の人たちも見られます。

同校の教頭・井口章さんは「生徒全員で観劇する機会は少ないので、いい経験になっていると思います。学校行事としても定着しているの、今後も続けていきたいです」と話しています。



住民に有線放送やチラシで協力を呼びかけ、当日は生徒と保護者で資源ゴミを回収。10年目ということもあり、子どもたちも慣れたもの。率先してリサイクル活動に参加していました

高ぶる躍動・歓喜あふれる感動空間 和歌山ビッグホール

和歌山ビッグホールは世界規模のスポーツ大会やコンベンション、シンポジウム、さらにはコンサート、展示会といった多彩なイベントが可能だけでなく、レクリエーション、式典、集会、パーティーなどさまざまな催しが開催できる多目的ホールです。

特徴 その1

お客さまのニーズに合わせていろいろなレイアウトができます



アリーナ2分割

観覧席の縦型



観覧席の横型

パーティー

特徴 その2

外観は太平洋に旅立つ「くじら」をイメージし、躍動感あふれる外観を表しています



特徴 その3

多彩なイベントに対応し自由度の高い空間設営、演出が可能です



得情報

学生（幼稚園・保育所から高校）でスポーツ・レクリエーションの大会や練習のために利用する場合は、施設利用料金を減額しています。アリーナ1/2利用による使用料金は半額です（ただし、スポーツ・レクリエーションの大会や練習に限る）。



ビッグホール

お問い合わせ 和歌山ビッグ愛・ビッグホール管理事務所 Tel.073(433)0035

和歌山市手平二丁目1-2 (JR和歌山駅より徒歩約15分) ホームページ <http://www.wacaf.or.jp/>

付帯設備 軽運動場・控室・会議室・特別室・更衣室（シャワー付き）・医務室・駐車場700台・駐輪場100台ほか

室内スポーツ競技 ハンドボール・バスケットボール・バレーボール・テニス・フェンシング・バドミントン・卓球・室内陸上・器械体操ほか室内競技

ワカフ
Wacaf

感動空間 ♥ 文化で元気!!

「Wacaf (ワカフ)」とは、和歌山県文化振興財団 (Wakayama Culture and Arts Foundation) の英字標記からとった当財団の名称で、文化芸術の素晴らしさをより多くの皆さまに知っていただくために使用しています。この文化情報誌も同じ「Wacaf」としました。イベント開催時ののぼりにも掲げているテーマ「感動空間 ♥ 文化で元気!!」には、「感動空間=心、みんなで文化に親しみ、共に元気になりましょう!」という意味があり、停滞ムードの漂う現代社会に、文化によって精神面から活力を与え「真に生きる喜びを実感できる社会生活」を目指すというものです。

【ホームページアドレス】 <http://www.wacaf.or.jp>

さぁみんなで入会しませんか
 特典いっぱい! 「けんぶん友の会」入会案内

入会したその日から、県文化振興財団主催事業の割引、市内3ホテル(アバローム紀の国・和歌山東急イン・ロイヤルパインズホテル)の利用割引などが受けられるほか、先行優先予約、電話予約ができます。また同情報誌「Wacaf」の郵送も。入会金なし、年会費2000円。



会員証が新しくなりました

送料実費で定期購読もできます

「Wacaf」各市町村・県内文化施設などで無料配布
 希望の方には送料実費で同情報誌を送ります!

同情報誌「Wacaf」は奇数月に発行。各市町村・県内文化施設などで無料配布しています。また送料(90円切手)負担で郵送も承ります。
 【お申し込み・お問い合わせ】M073(436)1331 和歌山県文化振興財団 (Wacaf)

県内催し物

スターダストレビュー
LIVE ENTERTAINMENT TOUR "Heaven"

開催日/1月12日(祝)
 開演/午後5時半~(開場/午後5時)
 場所/上富田文化会館
 入場料/4500円 ※全席指定
 お問い合わせ/M0739(47)5930上富田町教育委員会
 スターダストレビュー待望のニューイヤーコンサート。ここ数年、パワフルにインディペンデント活動を続ける大人のスターダストレビューを存分に楽しむことができます。思いっきり笑わせて、最後は感動で涙。という最高のライブを和歌山で繰り広げてくれるはずですよ。

Present
 [ワカフ プレゼント]

希望の方はワカフに住所、氏名、年齢、電話番号、文化情報誌「Wacaf」で最も良かったと思われる記事の記入のうえ、ご応募ください。厳選な抽選により当選者を決定し、当選者には発送をもって発表かえさせていただきます。
 締切日 1月26日(月) 必着
 〒6408269
 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)
 和歌山県文化振興財団 (Wacaf)
 「ワカフチケットプレゼント係」



南こうせつコンサート
 ツアー2004
 2月27日(金) 午後6時半~

ペア
 3組

新年あけましておめでとうございます。

只今、新年会のご予約を承っております。本年も皆様のご利用を心よりお待ちしております。

まつや特製 ※写真はイメージです(5人前)
 ※時節柄内容が一部異なる場合があります

オードブル + 鍋 + 寿司 セット

2時間飲み放題! お一人様 5,000円 (税込)
 (ビール・焼酎・ウーロン茶・ジュース・お酒)

ご予約・お問い合わせ (株) 県民文化会館レストラン(フロア) Phone(073)436-0265(内線181)

「けんぶん友の会」の会員様は、こんなにお得!

① 宿泊料金が通常の約20%OFF

	会員料金	一般料金
シングル	6,000円(1名様)	7,500円(1名様)
ツイン	10,800円(2名様)	13,500円(2名様)
スイート	32,000円(2名様)	40,000円(2名様)
和室	39,200円(7名様)	49,000円(7名様)

●上記価格にサービス料10%、消費税を加算させていただきます
 ●ベビーベッドは1,500円でご利用いただけます
 ●禁煙ルームを一部に用意しております
 ●バリアフリー対応の部屋もございます(ツイン1室)
 ■チェックイン:15:00 ■チェックアウト:10:00

和歌山城近くのアバロームは、宝石をイメージして建てられたホテル、光輝く外観が目印です。

② 館内3つのレストランでのお食事が10%OFF (一部特別メニューは除きます)

本格イタリアンとホテル 最上階からの見晴らしを楽しむ

TWIN BIRD

【営業時間】
 ランチタイム 11:00~14:00 (OS 13:30)
 ディナータイム 18:00~22:00 (OS 21:00)

爽やかな日差しが降り注ぐ ガーデンテラス

LEAF

【営業時間】
 モーニング 7:30~10:00
 ティータイム 10:00~11:00
 ランチタイム 11:00~14:00 (OS 14:00)
 ティータイム 14:00~17:00
 ディナータイム 17:00~21:30 (OS 20:30)

移ろう四季の味覚を 目と舌で味わう

六つ葵 Restaurant

【営業時間】
 11:00~21:30 (OS 21:00)

ご予約・お問い合わせは ホテルアバローム 紀の国 〒640-8262 和歌山市湊通丁北2丁目1-2 TEL.073(436)1200 <http://www.avalorm.com>